

令和4年7月22日 市長定例記者会見 会見録

◆司会

それでは、ただ今から、市長定例記者会見を始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

◆市長

はい、よろしくお願いいたします。今日は1時間前倒しをさせていただきました。ありがとうございます。朝方はかなり激しい雨が降っていたのですが晴れてきました。おかげさまで。3次総の5大構想の中の中心事業で、コロナのことはあったけれども、一つ一つ取り組んできた歴史博物館がいよいよ今日、プレオープンいたします。ぜひ取材方、昨日、内覧をしてくださったと伺っておりますけれども、よろしくお願いいたします。市民の皆さんに、ぜひ周知していきたいなというふうに思っております。

それでは、今日の話題、第4次静岡市総合計画案パブリックコメント、2回目の実施についてであります。記者の皆さんには、お手元にこの4次総の原案、まだ未定稿ではありますが、お配りをしておりますので、ご参照ください。スライドを用いて説明いたします。これは記者の皆さんもご承知のこととは思いますが、令和3年度、4年度、2年間かけて策定をしてきたわけですが、昨年度、令和3年度の取り組みの中で、今年の2月までに骨子案を固め、それを1回目のパブコメにかけたわけですね。これは3次総の時にはしなかったことであります。この柔らかい段階で、一回、市民の皆さんに意見を求めようというプロセスを挟みました。現行の3次総の冊子なんですけれども、表紙に「みんなの力で創る、静岡。」って掲げたんですね。『1人の100歩よりも100人の1歩』というふうにコピーを作ったんですけれども、8年前も3次総の中で、私の意欲とすると、できるだけ多くの方々に、この計画にコミットしてほしいという意欲がありました。しかし、結果的には、なかなかそうはいかなかったというような反省があります。ですから、今度の4次総は、より多くの市議会議員の皆さんはもちろんのこと、より多くの市民の皆さんに関心を持ってもらって、関わってもらう、そのプロセスを大事にしようという思いから、今回、2回パブコメにかけるということにいたしました。1回目のパブコメで、いろんな方からいろんなご意見をいただきました。スライド3をお願いしたいと思いますが、154名の方から306件のご意見をいただきました。その中の主な意見とすると、「基本構想に関しては、世界に輝く静岡を実現するために、まず人が輝いて、その上でまちが輝くのではないか」という根本の定義の問題であるとか、あるいは骨格の部分で、7つの柱というものを打ち出したんですが、「柱のレベル感が

ばらばらでないか、揃っていないように感じる」と。あるいは、「7つは多すぎるからもっと絞ってもいいのではないか」というご意見。あるいは「子育て支援であるとか、あるいは若者世代をもっと支援をする、大切に作る施策が前に出るべきではないか」とか、そんなご意見もありました。それらの全ての意見に目を通し、必要な見直しをしてきたというのが、この数カ月の作業であります。

次のスライドをお願いします。主な見直しとしては、先ほど申しあげました7つの柱、この骨格の部分から見直しました。私、2月の施政方針の中でも3次総を継承、進化させた5大構想、プラス2と、5足す2で7つの柱、これを4次総の核にしていきたいということを伝えましたけれども、多すぎるということがありましたので、やはり5つの分野を横断的な重点政策という形に絞り込み、修正して、再編していこうという結論になりました。そこで4次総では、「歴史文化」「海洋文化」、これは従来からありました。それに「森林文化」という三つの地域づくりに加えて、あと二つ、健康長寿に子ども・子育ての観点を加えた、「健康活躍のまちの推進」ということと、あと、まちは劇場の推進とありましたが、そこにスポーツ振興の要素を加えた、「まちは劇場とスポーツの推進」、これは、まだ仮称であります。これもいいネーミングがあったら、ぜひ市民の皆さんに、ご提案いただきたいと思っておりますけれども、この2つ、5つに絞り込んでお示しするということが新しい骨子案であります。

さらに、2回目のパブコメでは分野別の計画についても、ご意見をぜひ、いただきたいというふうに思っています。この分野別計画では、基本構想で定める二つの目指す都市像、「市民(ひと)が輝く」というものと、「都市(まち)が輝く」というもの、この役割を担っておりますけれども、10の分野別計画の取組を総合的に推進することによって、市民が輝いて、結果、都市が輝くという好循環を生み出してまいりたいと思っております。

次のスライドをお願いします。そして、市民の皆さんに申し上げます。このパブコメ2回目は、来月8月1日から31日まで実施します。原案については、各区役所や生涯学習施設、図書館、市のホームページなどでご覧いただけます。また、来月8月1日以降、市の公式LINEや市内各所で実施するイベントなどの機会を捉えて、幅広い年代の市民の皆さんから意見を聴取していきたいと思っております。夏休み期間中ですので、ぜひ、これからの静岡市を担っていく若い方々、中学生、高校生の皆さんにも、ぜひ関心を持っていただきたい、夏休みの自由研究のテーマにも取り上げていただきたいというふうにもお願いをしたいと思います。

そして、記者の皆さんにはもう1枚、お手元にA4判のチラシを配っておりますけれども、パブコメの周知を図る一環として、来月の6日、4次総の策定シンポジウムを開催したいと思っております。8月6日、土曜日ですね。ここでは、この

4次総で重点目標として掲げている「人口活力を高め、まちとくらしを豊かにする」、この理念を実現するための人口活力とはそもそも何か、この人口活力を高めるためにはどのような取り組みが必要なのかをテーマに、基調講演の後、ディスカッションを行っていきたいと思います。オンラインでも参加が可能ですので、ぜひ多くの市民の皆さんに、ご参加いただきたいと思います。まちづくりを考えるきっかけにしていきたい、パブコメを書く一つのきっかけにしていきたいとお願いをいたします。3次総でも掲げた、『1人の100歩より100人の1歩』の理念の下、市民の皆さんと市の職員、そして市議会議員の皆さんワンチームで、世界に輝く静岡の実現を目指す計画に仕上げていきたいと思いますので、より多くの市民の皆さんに、こういうこと静岡市でやっているんだ、という目に触れ、そして結果、意見を寄せていただく、ご意見をいただきますように、報道機関の記者の皆様にも、ぜひ、ご協力をお願いする次第です。私からは以上です。

◆司会

それでは、ただ今の発表につきまして、皆様からのご質問をお受けしたいと思います。いかがでしょうか。NHKさん、お願いいたします。

◆NHK

NHKです。この資料を拝見した限りにおいては、市民の間で関心の高いサッカースタジアムやアリーナのことは明記されていない、海洋文化施設も3次総の取組という参考資料で出てくるだけで、本文には出てこないようですけれども、これは最終的にはそういったことも位置付けられるのかどうか、いかがでしょうか。

◆市長

これはやっぱりパブコメをいただいた中で、そういう意見が多ければ、それは議論の対象になりますし、ご存じのとおり、今、検討委員会が設置されて議論が始まったばかりでありますので、そちらのほうも報道してくださることによって関心を向けていただければうれしいな、というふうに思っています。

◆NHK

意見が多ければとおっしゃいましたが、意見が特段なければ、4次総には書き込まれないということでしょうか。

◆市長

そうですね。やっぱり市民の声を反映するというのがパブコメの趣旨でありますので、そういう方針で行きたいと思っています。

◆NHK

分かりました。ちょっと市長ご自身にお答えいただくのは難しいかもしれませんが、田辺さんがどうこういうこととは別に、来年、市長選があつて、選挙は確実にある。で、市長は選挙がある以上、代わる可能性は常にあるという中で、4次総に掲げられたことに反対する候補の方が当選された場合、その4次総に新しい市長が縛られるのか、それとも、新しい市長は4次総を、全然、随時、適宜、修正したり否定したりしていいのか。企画局長とか副市長、一般論としてお答えいただけるようでしたらお願いします。

◆企画局長

企画局長の松浦でございます。今のご質問ですが、行政の継続性というのはありますので、まず市の総合計画として定めたものは、基本的にはそのまま進めていくという性質のものだと理解してはいます。ただ、首長が代わる、あるいは選挙の争点としてどういうものになるのかというのは、また、その時点でいろいろな影響が出てくるものだろうな、というのも一般論としては理解をしております。以上です。

◆NHK

分かりました。ありがとうございます。

◆司会

その他、発表案件につきまして、ご質問いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、幹事社質問のほうに移りたいと思います。NHKさん、よろしく願いいたします。

◆NHK

では、2つのテーマで、それぞれについて複数質問あるんですけど、一つ一つお答えいただきたいと思います。まず、新型コロナ第8波についてです。明日から多くの学校で夏休みを迎えますが、市民の行動について呼び掛けはありますでしょうか。まず、お願いします。

◆市長

はい。市民の皆さんに呼び掛けたいと思います。熱中症に注意しつつ、必要な状況でマスクの着用、手洗い、3密の回避などの基本的な感染症対策をしっかりと心掛けていただきたいと思います。そして、体調がすぐれない場合には無理をせず休養を取るなど、体調管理に努めていただきたいと思います。感染予防の徹底をお願いして、夏休み、素晴らしいひとときにしていただきたいと思います。お願いいたします。市としてもワクチンの接種を積極的に進めておりますので、3回目、4回目の接種がお済みでない方は、早めに接種していただくということも申し添えます。

◆NHK

ありがとうございます。そして、市の公共施設の運営について、何か方針があるか、また3密回避とおっしゃいましたが、明日、安倍川花火大会ですか。そして、8月に清水みなと祭り、高等学校応援団フェスティバルと、イベント開催予定されていますけれども、市としての方針ですとか、実行委員会への要請事項はありますでしょうか。

◆市長

ここが、本当に各自治体が非常にバランスを取るのに苦慮をしているところ、大きなポイントだろうというふうに思っています。行動制限は国のほうでも示していませんので、また社会経済活動をできる限り維持しながら、感染症対策をするという、この両立を図ると。まさに2つのLifeを守るということで取り組んでまいりたいというのが基本であります。そして、おたずねの市の公共施設の運営については、これも国が示す新型コロナウイルス感染症の基本的対処方針に基づいて、業種ごとのガイドラインが策定されております。引き続きマスク着用の徹底、室内の換気など、基本的な感染症対策を徹底するとともに、施設の性質や利用形態などを考慮した感染防止対策を市としても実施してまいります。そして、アベハナ(注：安倍川花火大会)はじめとしたイベントの開催についても、それぞれ実行委員会が開催に向けて準備をして、そして、私もその報告を受けておりますけれども、開催を、支援を、下支えをしながら、感染症対策を徹底することを願いますなど、より多くの市民の皆さんが、主催者側、実行委員会側も、そして、そこにいらっしゃるお客さん側、市民の皆さんも双方が協力をして、事故のないイベントにしていきたいというふうに、願っております。

◆NHK

ちょっと事前の質問になかったんですが、とはいえ、静岡市だけで1,600人とか、1,300人とか数字が、1,000人超えの数字が毎日出ていて、「本当に花火大会やるの?」と不安に思っただけの方、この数日、非常に多くなっていると感じるのですが、その辺り、市長の認識いかがでしょうか。

◆市長

そうですね。「花火大会やるの?」という不安に思っている方もいらっしゃる、ぜひやってほしいと思っただけの方もいらっしゃる、そういう中での両立がポイントだということでもあります。正確な情報を今日、保健所長が出席しておりますので、少し補足していただきたいとお願ひします。

◆保健所長

保健所長の田中でございます。やはりここ数日間、1,000人を超えるという感染者の、新規の感染者の数が上がっておりますけれども、幸いなことにBA.5等の変異株を中心とした置き換わりが進んでいく中での感染者の増ということが、市のみならず全国で起こっているという状況ではございますけれども、基本的には国、県とも、今、市長おっしゃられましたように、この件に関しては確かに新規の感染者は多いんですけれども、重症者については今のところ、私ども市管内では0ということですし、著しくそういった死者が増えているという状況でもございません。ただ、病床利用率に関しましては多少、ここ数日間増えてまいりまして、医療機関への負担が増加しているという状況でございます。したがって、今、各種イベントとの両立が可能かどうか、というご質問だろうと思っておりますけれども、やはり一人一人が適切に感染予防に努めていただく、その中で、今、体調が悪いとか、あるいは身内の方にリスク因子のある方がいるとか、また、やはり夏というのは受験の季節でもありますので、受験生がいるとか、そういった個別に、今、雇れないという事情がある方については、それなりに、さまざまなリスクとベネフィットとを勘案していただきまして、適切に対応していただくということをお願いしたいと思ひます。また、ワクチン接種に関しまして、これも国全体でも同じ傾向があるということなんですが、やはり若い年代の接種が進んでおらないということで、ここをいかに接種いただくか、若い方が雇って、その周りに広げていくという構図、本市以外にも起こっている現象ということですので、私どもも引き続き、こういうワクチン接種の推奨に関しまして努力していきたいと思ひますし、また、医療機関も多少そういった面で逼迫感が出てきてるのは事実ですので、適切な支援ということが出来るか、現在、医師会であるとか、県であるとか、そういう

ところと検討しているという状況でございます。以上です。

◆NHK

ありがとうございます。そして、歴史博物館についても、本日、この後の記念式典や明日のプレオープンの開催は問題ないということでしょうか。

◆市長

そうですね。受付時の検温、手指消毒を徹底します。また、館内は常時換気をしております。式典内容も、複数の人々の接触、密着を可能な限り避ける形で行っていきます。入館者の検温、手指消毒、館内の常時換気、どこの自治体も悩んでいるところでありますけれども、昨日、小池都知事が呪文のように、「ワクチン、マスク、換気。ワクチン、マスク、換気」と都民の皆さんに呼び掛けておりましたけれども、私も同じであります。そんな流れで、主催者側も来場者の方も気を付けていただくということで、事故のない式典にしていきたいし、イベントにしていきたいというふうに思っております。

◆NHK

続いて、市議会の総務委員会の懇親会でクラスターが発生した件について伺います。これ、職員側の手配で53人の規模の懇親会が開かれたわけですが、この判断は妥当だったのでしょうか。

◆市長

その時点の判断としては妥当だったと思います。今回の懇親会は、議会事務局が幹事となり開催されたものです。当時の感染状況が国の評価レベルで1であったことや、静岡県の認証店を利用していたなどの対策を講じて開催されたという報告を受けています。

◆NHK

クラスター発生が絶対的にけしからん不祥事とまでは申しませんが、飲食店を応援したいという気持ちもあったのだとは拝察しておりますが、情報の出し方のあり方として、懇親会が7月4日、月曜日に開かれて、私どもが報道したのが11日、月曜日、そして市からの発表は12日、火曜日でした。ただ、懇親会出席者に陽性者が10名以上出ていたことは、週末の時点で分かっていました。土日間にクラスター認定して周知することもできたと思います。なぜクラスター発表が12日、火曜日になったのか。なぜ11日、月曜日の出勤時間前に、関係職員に注意喚起を図らなかったのでしょうか。

◆市長

いくつかの質問に一括、お答えいたしますけれども、まず、関係職員への注意喚起についてですが、懇親会の幹事である議会事務局が、7月8日の金曜日に、懇親会に出席した複数の議員に体調不良者がいるということ把握しました。なので、同じ日の正午過ぎに出席者に対し注意喚起を行ったということであり、次に、クラスター発表が12日となった経緯についてですが、人事課では、関係職員の行動歴が10日の日曜日に取りまとめられたので、11日の月曜日の午前中に議会事務局とともに保健所に相談した上、同日中にクラスターの認定、翌日の12日に発表になったという経過であります。いずれにしても、一部の参加者の感染予防が徹底されなかったということは大変残念に思っています。市の職員には感染予防を徹底するという点で改めて指示をしたところであります。

◆NHK

補足で伺いますが、私も10日まで参議院選挙に関わっていたので、専念できず問い合わせが遅れたんですが、月曜日になって、私が「これ、クラスターじゃないのか」と問い合わせをしたのに対して、人事課はじめ担当課は、「まだ発症日にずれがあるので、クラスターかどうかはまだ分からない」ということを繰り返し説明して、夜になって、どうやらクラスター認定するらしいということで、私ども報道いたしましたけれども、結局、外から言われないと、ちゃんと調査しない体質になっていませんか。

◆市長

そんなことは、私はないと思っています。総務局長、お願いをいたします。

◆総務局長

総務局長の渡辺と申します。よろしくお願いたします。先ほどの行動歴が10日にまとまったというところではあるんですけども、実際に人数の内訳等を申し上げますと、8日金曜日に一人、それから9日の土曜日に4人、10日の日曜日に5人の職員の陽性と、その行動歴を確認できたということで、この10日の日曜日に全てのものを取りまとめられましたので、これをもって11日の午前中に保健所のほうに相談をしたというような、そんな経緯でございます。

◆司会

それでは、ただ今の幹事社質問に関連したご質問をまずはお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、その他、ご質問をお受けしたいと思います。テレビ静岡さん、お願いいたします。

◆テレビ静岡

テレビ静岡です。よろしくお願ひします。卓球のTリーグについてお聞きします。静岡市を拠点とする新チームが新規参入を目指しているという話があるんですけども、まず市長の元にはその情報が入っているのかということと、受け止めをお願ひします。

◆市長

情報としては入っております。先ほど4次総の中でも申し上げましたけれども、まちは劇場、プラスアルファして、スポーツの振興ということをつけ加えていきたいという大きな方針がございますので、このような動きを私たちは肯定的に見守っているところであります。民間の方々が主体になっているということでもありますので、そこに対して私たちは、エスパルスをはじめホームタウンチームと連携して、スポーツを生かしたまちづくりをしているわけですので、卓球というのは、この頃、日本強いですしね。静岡県は強い選手を輩出している有力県でもありますので、さらに卓球というのは、私も中学卓球部だったんですね。子どもからお年寄りの方まで楽しめる生涯スポーツでもありますので、これを機会に市民の皆さんが卓球の面白さに関心を持っていただき、スポーツによる市民の健康増進につながるということを期待をしております。

◆テレビ静岡

弊社の取材だと、市内の中でも特にオクシズ地域を拠点とするという、なかなか珍しい取り組みかなと思うんですけども、市の方も中山間地振興というのは重要なテーマだと思いますが、そのオクシズを拠点とするというところでの期待はいかがでしょうか。

◆市長

卓球の利点というのは、ご存じのとおりヨーロッパでテニスをやっているのを室内でもできないかということで始まった。つまり、狭いスペースでも楽しむことができる、競技をすることができるという利点を持っております。そういう意味では、中山間地域の振興という点と親和性が強いのではないかなというふ

うに思っております。この前、梅ヶ島学区の有志の皆さんがそういう観点で、また、昭和の時代のイメージかもしれませんが、卓球というと温泉というイメージもあったんですね。ですので、そういうフィット感の中で、梅ヶ島の皆さんが、オクシズ卓球をやろうというふうに取り組み始めて、私たちも下支えをしたわけです。大いにポテンシャルがあろうかなというふうに思っています。

◆テレビ静岡

新チームはスピード感を持って、来期での参入を目指しています。市長、先ほどおっしゃいましたけれども、4次総で、先ほどもおっしゃいましたスポーツの推進というのを大きく掲げておられますが、市として、こういった来期への参入を後押しする考え、市長個人でもいいんですけれども、その辺はいかがでしょうか。

◆市長

はい、あります。スポーツを通じたまちづくりということで今、目下、目下、議論しておりますけれども、富士山型で頂は高く、つまり複数の競技スポーツのトップチームがあったほうが、中学の部活動に精進をしているお子さん方に対しても目標が高く見えてきますので、ふさわしいと思いますし、また頂が高ければ高いほど裾野が広がっていくというようなこともありますので、そういう意味では、サッカー、バスケットのみならず、そういうレベルの高いトップチームが静岡市のホームタウンチームにあるということは、とても喜ばしいことだというふうに思っております。

◆テレビ静岡

今の発言の趣旨として、来期への参入を少し後押しできるところはしていくというふうに受け止めましたけれども、一般的にもいいんですが、どんな、例えば、市としての支援というか、取組というのが考えられますでしょうか。

◆市長

環境整備については、先日のオクシズ卓球を下支えしたというのも、その一環であります。環境整備ということで、いろんなことができようかなというふうに思っております。その点では観光交流文化局のみならず、今回は葵区の職員も頑張ってくれましたし、経済局の中山間地振興課の職員も頑張ってくれて、局間連携でこれを下支えさせていただきました。ただし、プロチームですのでやっぱり事業性、これは民間の方々がきちっと説得力のある事業計画を提唱していかないといけないというふうに思っています。やっぱりバスケットもそうです

けれども、なかなかプロスポーツを経営を中長期的に安定させるというのは手腕がいることであります。そういった点で、正式な経営計画、あるいは支援の要望というものがありましたら、その内容を慎重に精査をした上で環境整備について支えていきたいというふうに思っています。

◆テレビ静岡

分かりました。ありがとうございます。

◆司会

その他、いかがでしょうか。先に朝日テレビさん、お願いいたします。

◆静岡朝日テレビ

静岡朝日テレビです。よろしくお願いします。

◆市長

おかえりなさい。

◆静岡朝日テレビ

歴史博物館についておたずねします。この歴史博物館については当初、知事から反対意見があったりと、いろいろ紆余曲折もあったと思うんですが、ようやく明日プレオープンにこぎつけたということで、過去を振り返って、改めて今のお気持ちを聞かせてください。

◆市長

城下町の歴史のある静岡市ですので、やはり歴史を誇りに思う市民の皆さんが増えてほしいなというふうに思っていました。その観点から、市の歴史博物館というものが望まれておりました。これはもう3次総の中にも重点事業として組み込まれていますが、昭和の終わりの頃からの静岡市の懸案事項でもありました。そういった点では、明日プレオープンを迎えるということは、先人たちの思いを一つ形にできたという感無量の気持ちであります。

◆静岡朝日テレビ

ありがとうございます。

◆市長

ただ、この点を線にして面にしていくという作業が必要ですので、葵舟を浮かべ

るということ、駿府城公園の中の整備ということで、城下町の歴史的な町だったというような総合的なまちづくりは、まだまだ、これからだというふうにも思っています。

◆静岡朝日テレビ

ありがとうございました。

◆司会

第一テレビさん、お願いいたします。

◆静岡第一テレビ

静岡第一テレビです。ちょっとごめんなさい、話が戻ってしまって恐縮なんですけれども、このパブコメを募集する第4次総合計画について、実質、来年度からスタートするわけですが、改めて市長として、この4次総への思いというか、この歴史文化施設、もろもろ海洋文化の話とか、いろいろ出てくると思うんですが、その思いをお聞かせいただけますでしょうか。

◆市長

ないものねだりをするのではなくて、あるもの探しをする。これは3次総から4次総に貫く私の思いであります。静岡にはたくさんポテンシャルがある。自然資源、歴史資源、あるものを探して、それを発掘して磨いていくということを、4次総にも継承していきたいというふうに思っています。そして、国際人の一歩は、英語をしゃべれることではなくて、日本文化のことをよく説明できることだとよく言われます。国際的に求心力を持つというのは、ここにユニバーサルスタジオやディズニーランドがあるのではなくて、ここにかつてあったもの、これを磨いていくことが魅力になっていくというのが私の思いであります。ですから、ここにしかないもの、ここに来なければ見られないもの、経験できないこと、食べられないもの、それを磨き上げて、そして一度静岡に来てください。それが、世界に輝く静岡の条件だというふうに思っております。静岡市プラモデル化計画を今、力強く推進しているのも、そういう思いの公共政策であります。

◆静岡第一テレビ

ありがとうございます。ちょっとそれに関連して、昨日も取材に対応いただいているので恐縮なんですけれども、やっぱり今、市長のお話を伺うと、4次総への強い思いを感じるんですね。ただ4次総をするためには、来年度の市長選、勝ち

上がらなきゃいけないと思うんですが、その辺の思いですね、ちょっとお答えできる限りで構わないんですが、自分の手で手掛けたいという思いはないんでしょうか。

◆市長

まずは策定に全力投球するという事です。先ほど企画局長が一般論として答えてくださいましたが、やっぱり市政の安定と継続ということも大事ですので、私が思いを込めて、市の職員や市議会議員や市民の皆さんと一緒に作った4次総を継承してくださるということは、誰が市長になっても期待はしたいところであります。

◆静岡第一テレビ

ただ一方で、やっぱり、これだけのしっかりした計画を出す以上、ある程度、次、例えば市長が本当に出馬として手を挙げられるのか、あるいは別の方に譲るのかということも含めて、決断しなきゃいけないのかなと思っているんですね。その辺というのは、やっぱり、こういう計画を出した以上、ある程度の時期を見てやらなきゃいけないと思うのですが、その辺り、どうお考えでしょうか。

◆市長

意欲はもちろんありますけれども、やはりしかるべきタイミングに、正式には、しかるべき場所で、私の去就については態度を表明したいというふうに思っています。

◆静岡第一テレビ

すいません。ありがとうございます。

◆司会

その他、いかがでしょうか。先に日経新聞さん、お願いいたします。

◆日経新聞

日経新聞です。4次総の話なんですけれども、3次総の時の5大構想の中に、「教育文化の拠点づくり」で、草薙の地域の整備というのがあって、4次総はそこが抜けて、差し替わる形で「森林文化の地域づくり」というところが入っていると思うんですが、整備が進んでいるというのは、もちろん知ってはいるんですが、ここに森林文化のところを入れたというお考えですとか、というのを教えていただきたいなと思います。

◆市長

「森林文化の拠点(注：地域)づくり」というのは、「教育文化の拠点づくり」とは別の次元で、新しく提案された考え方であります。中山間地振興という点からも、オクシズをもっと大事にしていく、大事にしていましたけれどね、強くアピールしていこうというために、そこに予算の重点配分するために、「森林文化の拠点(注：地域)づくり」ということを、新たに設定したわけです。また、オクシズ、しずまえという言葉がありますけれども、それが沿岸地域、ここは「海洋文化の拠点づくり」ということで、3次総に設定されている、海洋文化の拠点づくりがあるんだったら、ここに縦、南北に長い静岡市の特性の中で、森林文化の拠点づくりというのもやっていこうじゃないか、そんなことで、これが新たに設定されたわけです。一方、「教育文化の拠点づくり」ということは、当初は文教施設が点在している東静岡、あるいは草薙地域、ここに拠点性を持って、「教育文化の拠点づくり」というものを3次総で手掛けてきたわけです。その成果として、待ちに待った常葉大学が草薙のポーラの工場の跡に移転してくれましたし、また、ソフト政策の中で草薙カルテッドが、大学生の皆さんと地域の皆さんのコラボレーションの中で生み出されましたし、一定の成果があったというふうに思っています。「教育文化というものは、この拠点性をもってここは強化するんだけど、もう少し広げて、全市的に取り組んでいくことではないか」というような議論が3次総の過程にあったので、「じゃあ、東静岡と、さらに限定するんじゃないくて、教育政策、教育文化政策というものは、全市的な展開をしていこう」ということを議論しているというのが4次総の考え方です。

◆日経新聞

ありがとうございます。

◆司会

朝日新聞さん、お願いいたします。

◆朝日新聞

朝日新聞です。よろしくお願いいたします。2週間ほど前の7月8日に、安倍元総理が銃撃されて亡くなったという事件がございました。まず①として、市長ご自身、安倍さんに対する個人的な思いというものが、もしありましたら教えてくださいたいと思います。

◆市長

本当に安倍さんの胸中を察すると、志半ばで倒れられたということ、無念の思いだったなというふうに拝察をいたします。心からお悔やみを申し上げます。本当に安倍さんというのは人柄のいい方でありました。私も市長選挙の公認をいただく際に、ずいぶん雑談といたしますか、談笑させていただきました。励ましてもくれました。そういった点でたいへん親近感を持っています。また、私、教育政策に力を入れてきたつもりでありますけれども、教育基本法を改正してくれて、その安倍政権の時に、新しく風通しを良くするために、教育委員会と市長部局の合同の総合教育会議の設置ということを打ち出してくれました。その成果がいろいろ、静岡市においては表れています。この総合教育会議という新しい制度を最大限に活用させていただき、学校給食の充実、図書館の充実、あるいは教職員の働き方改革、あるいは部活動の取組、することができています。そういった意味では、本当に敬意を表していきたいし、感謝をしているところであります。

◆朝日新聞

ありがとうございます。あともう1点なんですが、今日、閣議で、政府が安倍元首相の国葬を行うことが正式に決定いたしました。これについての賛否というのはいかがでございますでしょうか。

◆市長

これはいろいろご意見があろうかと思えます。ただ、いろいろご意見が国政において寄せられている中で、岸田総理が決断されたことを私は尊重したいと思っております。

◆朝日新聞

それで、今のところ政府は、当日は学校を休みにしたりしないというような方針のようなんですけれども、当該の自治体としてのお考えとして、27日というのは平日なんですけれども、学校を半ドンにするとか、役所を半ドンにするとか、故吉田首相の時には、そういうふうな半ドンだったこと、私も記憶しておりますけれども、その辺、どんなふうな対応をされますでしょうか。

◆市長

まだ、それは教育委員会と議論していませんので、これからのことだと思えます。

◆朝日新聞

当日どういうふうな対応をするかというのは、今の段階ではまだ決まってないということで、平常どおり授業を行うというふうなわけでもないということですか。

◆市長

かなり、ご存じのとおり学校のカリキュラムというのがタイトな状況なんですね。一日一日、コロナもありますし、大切に、やはり教えるべきことを学習指導要領に準拠して教えなきゃいけない。そういう意味では時間が必要であります。そういった点で、主体的には、教育委員会がこれをどう判断をするかということ尊重したいと思いますし、また、国の方針がどうであるかということも見守っていかねばいけないというふうに思っています。

◆朝日新聞

ありがとうございます。市として、安倍元首相側に対して何か弔意を示された、弔意、個人でも、あるいは市長名でも結構なんですけど、そういうものを示された経緯はございますか。

◆市長

ご承知のとおり、市議会本会議場で幹部職員と市議会ともども、黙とうを捧げさせていただきました。

◆朝日新聞

黙とう、市議会での黙とうということで、個人的といいますか、市長として、何か弔意の文章を安倍家のほうに送ったとか、そういうふうなことはございますか。

◆市長

行政ルートではありません。

◆朝日新聞

個人ルートではいかがですか。

◆市長

もありません。

◆朝日新聞

ありがとうございます。

◆司会

その他、いかがでしょうか。NHKさん、お願いいたします。

◆NHK

すいません。NHKです。ちょっと話が、がらっと変わって恐縮なんですけれども、市長がYouTubeチャンネルを開設する準備をしているといううわさを聞くんですが、本当でしょうか。

◆市長

まだまだ、本当ではありません。

◆NHK

開設に向けて撮影などの準備をしたという事実はありますか。

◆市長

いろんな実験は、いろんな提案がありますので、しております。参議院選挙でもSNSというのが一つの広報の手法として、存在感が大きくなっているんだろうなというふうに思います。私、この定例記者会見、大事にしておるんですけども、私が伝えたつもりでも、市民の皆さんには伝わっていないことも多々あるということを感じているので、その必要性が、私も感じているところです。

◆NHK

市長がネット、SNSに進出するとしたら結構、市長の行動からすると珍しいと思うんですけども、恐縮ですが、この4選出馬意向あるなしの一連の報道について、主にYahooニュースですかね、コメント欄ありますけれども、それが市民の意見を代表してるかどうかはまったく別にして、市議会議員さんの間でもかなり話題になっています。市長、ご覧になりましたでしょうか。

◆市長

見てません。

◆NHK

本当に、それが代表的な意見か分かりませんが、一昨日のテレ静さんや、

後続のSBSさんのニュースなどに数十件のヤフコメ、コメントが付いて、全て読んでみたんですけども、田辺さんの立候補を支持や応援をするコメントが一つもなく、全てが、その意向があるというニュースを嘆かわしく受け止めて、なんとか対抗馬が擁立されることを期待するコメントばかりでした。ネットの反応とはいえ、こんなに現職の立候補意向が否定一色になることは、まず見たことがない現象なんですけれども、それで市議会議員さんもショックを受けてるようなんですが、こうした現象が起きることを市長はどう受け止めてますでしょうか。

◆市長

残念ですね。率直に残念に思います。ですからこそ、私が昨日お話をしたように、一日一日を誠実に過ごして、そして3次総で計画したこと、公約をしたこと、それを任期いっぱいきちっと取り組んでいく、そして、それをちゃんと伝えていく、そして、そういう方々にも伝わっていく。それを強く私の自戒の念としてやっていきたいと思っています。

◆NHK

そういったご自身のニュースに付くコメントですとか、あるいはTwitterの反応とかも、見ていこうというお気持ちはありますか。

◆市長

広い市民の意見というものは、吸収していかなければいけないというふうに思っております。本当に70万人の都市ですので、多様な意見があろうかと思えます。一つの物事を決めるにも、当然、賛成と反対がある、それに耳を傾けるということは大切なことだろうというふうに思っています。

◆NHK

分かりました。ありがとうございます。

◆司会

すいません。ここで1点、訂正をさせていただきます。

◆市長公室長

市長公室長の岡山です。先ほどの朝日新聞さんの問い合わせで、安倍首相に対する弔電等なかったですかというお問い合わせだったんですけども、すいません、行政として7月11日に弔電を出しておりますので、すいません。ご理解の

ほど、よろしくお願いたします。以上です。

◆朝日新聞

それは、静岡市として…

◆市長公室長

静岡市として、安倍家に…

◆朝日新聞

市長名で出した？

◆市長公室長

はい、そうです。

◆朝日新聞

ちょっと文面をもう一度読んでください、それ。

◆市長公室長

文面は今、ちょっと、すいません、私も手持ちにないんですけれども、弔電を出したということです。

◆朝日新聞

11日ですか。

◆市長公室長

11日でございます。

◆朝日新聞

11日にどちら宛てに？

◆市長公室長

事務所宛てです。

◆朝日新聞

安倍事務所？

◆市長公室長

はい、さようです。恐れ入ります。よろしくお願いいたします。

◆市長

失念していました。申し訳ありません。

◆NHK

ごめんなさい、追加で。各自治体のトップなどの政治家の中で、方の中で、統一教会との関係が過去にあったことを認める発言も少しずつ出てるんですけども、市長ご自身がどうか、お聞かせください。

◆市長

全くありません。

◆NHK

ありがとうございます。

◆司会

それでは45分を回りましたので、本日の会見はここまでとさせていただきます。次回は8月10日、水曜日、午前11時からの予定となっております。本日はありがとうございました。